

カンボジア調査報告

さらなる海外事業の展開を目指して、東南アジアの国、カンボジアへと渡航調査を行った。カンボジアは人口 1600 万人（2017 年）の国で、首都プノンペンには華やかな王宮があり、国の北西部には世界遺産であるアンコールワットがある。



沖縄からは下の経路が便利である。

1. 沖縄 → アシアナ航空 韓国（仁川）→ カンボジア（プノンペン）
2. 沖縄 → 中国東方航空 中国（上海）→ カンボジア（プノンペン）

今回は、アシアナ航空を使用しました。

JICA カンボジア

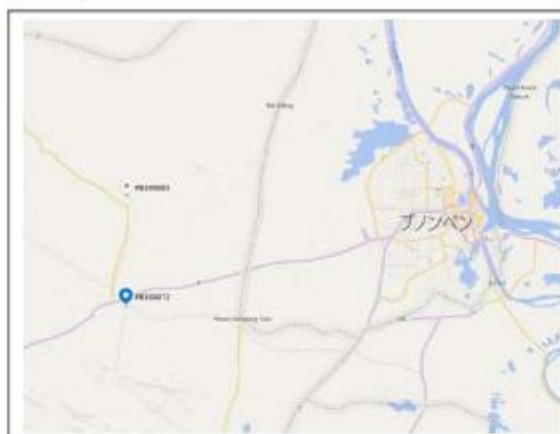
JICA カンボジアを訪問し、カンボジアの集落給水事業の可能性について尋ねた。プノンペンの奇跡として知られているとおり、カンボジアの首都プノンペンの水道は先進国と並ぶ水質と収益率を誇っている。これらは、JICA 支援と北九州市水道局の技術協力プロジェクトによって達成された。



2025 年までに、カンボジア全体で安全な水の供給範囲を、現在の 25% から 75% にまで実現させたいと考え、農村部への給水整備に日本の協力を期待しているとのことである。

コンボンスプー州 環境局

コンボンスプー州はプノンペンの西に位置している。環境分野でのニーズ調査を行った。



克蘭ヂェ水会社

コンボンスプー州克蘭ヂェ村にある水会社。社員は4人。灌漑用池の水をポンプで引込み、沈殿処理、砂ろ過処理後、塩素消毒して配水している。水が濁った際には凝集剤（硫酸バンド）を入れている。



取水ポンプ



浄水施設



字流式沈殿池



配水池



オーナー ビエ氏(左) 通訳サラ氏(右)



建設中の施設の前で集合写真

カンボジアの街並み

カンボジアは現在、中国や韓国資本の企業が多く進出しており、急激な都市化が進んでいる。

高層ビルや高層マンションも数多く建設されている。裕福な層が増えたのか首都プノンペン市内ではLexusが多く走っている一方で、庶民の主な足はスクーターである。スクーターは2人乗りは当たり前で、3~4人家族全員乗っているのも多く見た。

カンボジアは可能性を秘めた国であり、今後、事業ができることを期待したい。

